

調査研究

美術館事業のすべての土台は調査研究にある。国内外の写真史・映像史・美術史や写真論・映像論・美術論の成果をふまえ、また社会学やメディア論など他分野をクロス・オーバーしながら、常に新しい写真・映像作品の動向に目を向け、国際的な視点をふまえた調査研究を行い、その成果を展覧会や普及事業、紀要やシンポジウム等に反映させている。

【東京都写真美術館紀要No.8】

福原義春

・「文化遺産としての銀塩写真——二つの時代に生きて The Value of Photography as a Cultural Heritage——Living Past and Present Generation in Photography」

中村浩美

・「Sweet & Bitter: 日本の〈女の子写真〉をめぐる考察 Sweet & Bitter: The Intimate Mirror of Contemporary Japanese 'Girl Photography」

打林 俊

・「梅阪鷺里調査報告」

金田裕里

・「デジタルテクノロジーの進化と映画鑑賞者の変化 Advancement of Digital Technology and Spectatorship of Moving Images」

【論文等】

石田留美子

・「ニュース2007 海外レポート〔中国・韓国〕『写真年鑑2008—写真いま、ここに』、日本カメラ社、2008年5月、pp.120-122

・「PEOPLE ウリ・シグ」『美術手帖』2008年6月号、美術出版社、2008年5月、pp.175

・「中国における現代美術と美術館の関係」『新版 美術館は生まれ変わる』、鹿島出版会、2008年9月、pp.42-43

・「楊逸と見る『アヴァンギャルド・チャイナ』展」『美術手帖』2008年10月号、美術出版社、2008年9月、pp.98-108

・「WORLD NEWS 上海」『美術手帖』2008年11月号、美術出版社、2008年10月、pp.116-117

岡村恵子

・「ボディ・アート&パフォーマンス」『美術手帖』2008年4月号、美術出版社、2008年3月、pp.80-83 [『現代アート事典』美術手帖編、美術出版社、2009年3月、pp.78-81に転載。]

・「『映像』の過去・現在・未来をめぐって」『スタジオ・ボイス』2009年2月号 (vol.398)、INFASパブリケーションズ、

2009年2月、pp.56-57

・「恵比寿から映像文化の発信を」『公明新聞』2009年2月15日6面

・「ジャネット・カーディフ&ジョージ・ビュレス・ミラー『ミュリエル湖事件』」『東商新聞』第1888号、2009年2月20日、9面

岡部友子

・「フォトジェニックな都市、1930年代東京」『1930年代・東京』展カタログ、東京都庭園美術館、2008年10月、p.p.56-57

笠原美智子

・「書評 今橋映子『フォト・リテラシー』」東京新聞朝刊、2008年7月27日

・「理想は孤独死」『上野千鶴子責任編集 おひとりさまマガジン』文藝春秋増刊、文芸春秋社、2008年11月、pp.68-69

・「第50回毎日芸術賞 受賞者の業績 石内都 浮かぶ世界の傷跡」毎日新聞朝刊、2009年1月1日

金子隆一

・「山田牧彦」「高山正隆」『日本の写真家101』（共著・飯沢耕太郎編集）、新書館、2008年

・「展評『写真』への問いかけ—築地仁『垂直状の、(領域)・07』展」『写真空間1』青弓社、2008年

・「展評 ディファレンシャル・フォーカスの歴史性—テリー・ワイフェンバック『LANA』展」『写真空間2』青弓社、2008年

・「連載『名作の読み方』」『フォトコン』日本写真企画、2008年1月号~12月号

・「Pictorial Photography in Japan, "Truth Beauty: Pictorialism and The Photographs as Art, 1845-1945", Douglas and McIntre, 2008

神保京子

・「宙吊りにされた屍——ハンス・ベルメールの人形と写真への距離」『水声通信：特集シュルレアリスム美術をどう語るか』（3/4月合併号）、水声社刊、2008年、pp.98-103

・「資料編：カレル・タイゲ（シュルレアリスムとの離接点：11人の芸術家の軌跡）」『水声通信：特集シュルレアリスム美術をどう語るか』（3/4月合併号）、水声社刊、2008年、pp.160-161

・「ヴィクトリア朝の光と闇——英国写真黄金期のクウィアな視覚世界」『夜想#ヴィクトリアン』ステュディオ・パラポリカ刊、2008年10月11日、pp.30-41

・「東松照明」「佐藤明」「奈良原一高」「川田喜久治」「細江英公」「深瀬昌久」「宮本隆司」「森村泰昌」「今道子」『日本の写真

家101』(共著・飯沢耕太郎編集)、新書館、2008年

鈴木佳子

・「入江泰吉」「影山光洋」「濱谷浩」「林忠彦」「三木淳」「澤田教一」『日本の写真家101』(共著・飯沢耕太郎編集)、新書館、2008年

関次和子

・「田淵行男」「田中光常」「栗林慧」「竹内敏信」「海野和男」「岩合光昭」「星野道夫」「今森光彦」、『日本の写真家101』(共著・飯沢耕太郎編集)、新書館、2008年

・「このひと、この3冊(書評) 岩合光昭」、毎日新聞(朝刊)、2008年10月12日

・「名作写真館 名作写真館 vol.5 アンセル・アダムス」『we'II』、富士フィルム社内報、2008年春号、p17

・「名作写真館 名作写真館 vol.6 リチャード・ミズラック」『we'II』、富士フィルム社内報、2008年夏号、p33

・「今森光彦 キサントパンスズメガと彗星ラン」、『東商新聞』8月20日

・「昆虫写真の名作を楽しむ」、『アサヒカメラ』8月号、pp.159-165

中村浩美

・“Sweet & Bitter: The Intimate Mirror of Contemporary Japanese ‘Giri’ Photography”, text for “J-WAVE USA Southern California as the Gateway to Japanese Contemporary Creative Industries in the West” conference program organized by UCLA, Los Angeles, U.S.A., March 13th - 15th, 2008

・“A Private History: Contemporary Japanese Photography”, text for “A Private History” exhibition catalogue organized by VB-VALOKUVAKESKUS, Victor Barsokvitch Photographic Center, Kuopio, Finland, June 5th - August 31st, 2008

・「視点・子ども: 池田晶紀、今村拓馬」、『季刊四季の写真』、学習研究社、2008年春号、pp. 62-69

・「We love snap + Snap your life! : 世界のスナップショットの名手たち」、『月刊キャパ』、学習研究社、2008年10月、pp. 146 -151

・「アニー・リーボヴィッツ: レンズの向こうの人生」、『装苑』、文化出版局、2008年3号pp.126 - 127

・「ニューカマー09: パオラ・イヴァナ・スホネン、尾黒久美」、『装苑』、文化出版局、2008年12号pp. 88

丹羽晴美

・「美術館におけるコンテンポラリーダンスの試み」『コンテンポラリーダンスの美学的分析とその社会的基盤』平成18,19,20年文部科学省科学研究費基盤研究(B)報告書、

2009年3月

三井圭司

・「下岡連杖」「島霞谷/島隆」「田本研造」「横山松三郎」「上野彦馬」「武林盛一」「内田九一」「小川一真」「鹿嶋清兵衛」『日本の写真家101』(共著・飯沢耕太郎編集)、新書館、2008年

山口孝子

・「画像保存、特集にあたって」「画像保存、東京都写真美術館における作品保存について」『日本写真学会誌』第71巻2号、(社)日本写真学会、2008、pp.49、54-59

・「2007年写真の進歩、展示・修復・保存関係」『日本写真学会誌』第70巻3号、(社)日本写真学会、2008、pp.145-147

【学会発表等】

石田留美子

・「中国現代美術の現場から」、国際シンポジウム『ジェンダー研究とアートの現状「グローバリズム」再考』武蔵大学、2008年12月14日

・「中国現代美術における“女性芸術”とは—第7回上海ビエンナーレをめぐる—」イメージ&ジェンダー研究会第101回例会、世田谷区男女共同参画センター・らぶらす、2009年2月1日

鈴木佳子

・美術講座「国吉康雄展関連20世紀前半のアメリカ写真—ソーシャル・ドキュメンタリーを中心に—」群馬県立館林美術館、2008年11月9日

笠原美智子

・トークショー「浮遊する写真 榎橋朝子×笠原美智子」青山ブックセンター、2008年3月16日

・講演会「アートとジェンダー」『ウィメンズフォーラム2007 part 2 女性と表現』大阪府・財団法人大阪府男女共同参画推進財団、大阪府立女性総合センター(ドーンセンター)、2008年3月29日

・“Contemporary Japanese Women’s Self-awareness in the Works of Japanese Contemporary Art and Photography”, “How to plan a specialized museum of art in Daegu Metropolitan City”, Symposium organized by Daegu Metropolitan City, Korea, Sep. 27, 2008

・“Contemporary Japanese Women’s Self-awareness in the Works of Japanese Contemporary Art and Photography”, “Postwar Japanese Art”, Symposium organized by Museum of Modern Art, New York, Nov. 13, 2008

・対談「アーティスト・トーク ポーリーン・オルテテン×笠原美智子」アーカス・プロジェクト2008いばらきオーブンス

タジオ、2008年12月13日

・講演会「ジェンダーとメディア」女性の働き方を考える会、港区男女平等参画センター・リーブラ、2009年2月28日

金子隆一

・ギャラリー・トーク「エリオット・アーウィット写真展」静岡コンベンションアートセンター、2008年12月20日

神保京子

・「第3回チェコトータルアートセミナー説明会：チェコアートシンポジウム」パネラー、チェコ日本美術文化センター／日本チェコ協会 主催、スターホテル東京2009年1月24日

中村浩美

・“Sweet & Bitter: The Intimate Mirror of Contemporary Japanese ‘Girl’ Photography”, lecture for “J-WAVE USA Southern California as the Gateway to Japanese Contemporary Creative Industries in the West” conference program organized by UCLA, Los Angeles, U.S.A., March 14th, 2008

・“A Private History: Contemporary Japanese Photography”, lecture for “A Private History” exhibition, VB-VALOKUVAKESKUS, Victor Barsokevitch Photographic Center, Kuopio, Finland, June 4th, 2008

藤村里美

・講演会「国吉康雄展関連 20世紀初頭のアメリカ写真－ピクトリアリズムからフォトセッションまで」群馬県立館林美術館、2008年10月26日

・「映像ディスプレイを主力とした展覧会」フォトイメージングエキスポ2009、日本写真学会セミナー、2009年3月27日

三井圭司

・「幕末のパノラマ写真－東京都写真美術館蔵《長崎パノラマ》（収蔵番号20100448および20100449）を中心に－」日本写真芸術学会研究発表会、2008年6月14日

・講演会「写真を通して社会が見える」恵比寿社会教育館、2008年11月1日

・講演会「写真の歴史 渡来の頃」福生市郷土資料室 2009年3月14日

山口孝子

・文化財保存修復学会第30回記念大会研究発表、「再燻蒸による写真画像およびゼラチンバインダーへの影響」九州国立博物館、2008年5月17日、18日 柴史之・大川祐輔による共同研究

・Pan-Pacific Imaging Conference '08, 「Overview on rehousing Daguerreotypes」, アルカディア市ヶ谷, 2008年6月25-27日 Yoko Shiraiwa, Takako Yamaguchi

・第28回防虫防菌処理実務講習会、「写真材料への燻蒸剤の影

響とフィルム保存の現状」横浜情報文化センター、2008年10月16日

・平成20年度画像保存セミナー、パネルディスカッション「画像保存の現状と将来を考える」東京都写真美術館ホール、2008年10月31日

・第13回ゼラチンシンポジウム、「写真の劣化と保存：ゼラチンバインダーの劣化評価」、千葉大学けやき会館、2009年3月26日

【非常勤講師等】

石田哲朗

実践女子大学文学部博物館学課程、美術史概論A/B、通年

岡村恵子

桜美林大学総合文化学科総合文化学群「アートマネジメント論」2008年春学期集中講義

笠原美智子

明治学院大学大学院文学研究科芸術学専攻「美術史特別講義Ⅲ」2008年前期

女子美術大学「特別講義 石内都・笠原美智子」2008年6月5日

金子隆一

武蔵野美術大学造形学部、写真論（通年）

武蔵野美術大学造形学部大学院写真コース、写真特論Ⅱ（通年）東京総合写真専門学校、合評・特演

神保京子

早稲田大学法学部「芸術論 IC（複製文化と現代美術）」「教養演習（表象文化）」ゲストスピーカー、2009年1月15日

関次和子

青山学院大学「映像文化論」前期

丹羽晴美

学習院女子大学国際文化交流学部「国際文化交流実習VB（美術）」春学期集中講義

藤村里美

武蔵大学人文学部ヨーロッパ文化学科「ヨーロッパの芸術ゼミ」2008年前期

三井圭司

明治学院大学大学院芸術学科「写真史写真理論研究A」2008年前期

明治学院大学大学院芸術学科「写真史写真理論研究B」2008年前期

北海道教育大学岩見沢校舎「メディアデザイン概論Ⅲ」2008年前期集中講座

山口孝子

東海大学課程資格教育センター「博物館学実習Ⅰ写真技術」、

春・秋学期集中講義

東京文化財研究所、保存担当学芸員研修、「劣化と保存 各論—写真—」、2008年7月24日

【委員・審査員等】

笠原美智子

東京国立近代美術館写真作品収集委員、財団法人西洋美術振興財団賞審査委員、財団法人周南市振興財団林忠彦賞選考委員、東川賞審査員（東川町）、ヒロシマ賞候補作家推薦委員（広島市）、財団法人五島記念文化財団五島記念文化賞美術新人賞候補者推薦委員、nominator for the Prix Pictet Award、nominator for the Leopold Godowsky, Jr. Color Photography Awards by Photographic Resource Center at Boston University、第52回鳥取県美術展覧会写真部門審査員、公益信託タカシマヤ文化基金「タカシマヤ美術賞」候補者推薦委員、コニカミノルタ・フォト・プレミオ選考委員

金子隆一

日本写真協会理事、日本写真芸術学会理事、文化審議会文化財分科会第一専門調査会委員、東京国立近代美術館資料収集委員会委員、横浜美術館資料収集委員会委員、高浜市やきもののかかわら美術館運営委員、日本写真保存センター設立推進連盟諮問委員、第4回名取洋之助賞審査員

関次和子

「昭和の記憶 カラーで顧みる1950年代の汽車・電車」（東日本鉄道株式会社主催）、『Break Station Gallery 三谷烈式写真展』企画運営、7月23日-8月21日

中村浩美

Curator, "Mikiko Hara & Mika Ninagawa", Exclusive UCLA exhibition at Anderson School of Management, Entrepreneurs Hall organized by The Japan Foundation, Los Angeles, March 13th---15th, 2008
Guest curator for "A Private History: Contemporary Japanese Photography" exhibition organized by VB-VALOKUVAKESKUS, Victor Barsokevitch Photographic Center, Kuopio, Finland, June 5th---August 31st, 2008

丹羽晴美

福島市写真美術館企画専門委員

山口孝子

日本写真学会編集委員、日本写真学会画像保存研究会委員、日本写真保存センター設立委員会調査委員

インターン受入

東京都写真美術館では今年度よりインターン制度を導入した。美術館事業を通して、将来の美術館活動及び写真・映像文化を支える専門的な人材の育成に寄与することを目的としている。第1期生となった平成20年度のインターン生および担当業務は以下のとおりである。

植村紗衣子

担当：広報事業補助

指導学芸員：関次普及係長、久代

打林俊

担当：「夜明けまえ 知られざる写真開拓史Ⅱ 中部・近畿・中国地方編」展補助

指導学芸員：三井

大澤紗蓉子

担当：「森山大道」展他企画展補助

指導学芸員：岡部企画係長

金田裕里

担当：「映像をめぐる冒険vol.1 イマジネーション 視覚と知覚を超える旅」展補助、恵比寿映像祭補助、映像作品管理補助

指導学芸員：岡村

竹内涼子

担当：保存科学、作品管理・データ制作補助

指導学芸員：山口、鈴木、三井

ヒントン実結枝

担当：作品管理・データ制作補助、「ヴィジョンズ・オブ・アメリカ」展補助

指導学芸員：金子

広報事業

開館13年目の平成20年度は、お客様や記者とより親密な関係が築けるよう、広報面でも「顔が見える美術館」を実践した。

1 広報誌「写真美術館ニュースeyes（アイズ）」発行（vol.58～vol.61）発行部数：30,000部

<巻頭記事>

58号「今森光彦写真展 昆虫 4億年の旅」

59号「日本の新進作家展vol.7 オン・ユア・ボディ」

60号「やなぎみわ マイ・グランドマザーズ」

61号「プレス・カメラマン・ストーリー」



ニュース58～61号表紙

2 ホームページの活用

平均アクセスは約42万PVで推移した。新着情報を頻繁に更新し、強調すべき内容を短期集中的に告知した。館運営ミッションや年報の全ページ公開、外部評価の公表など、写真美術館の活動全般にかかわるコンテンツも継続して公開した。学芸員のブログページも好評で、展覧会の準備や館のライブな活動を日記的な表現で親しみやすく公表した。

年間を通して展覧会与館に関連した検索キーワード広告を出稿しアクセスを促した。また、恵比寿映像祭では恵比寿映像祭専用のホームページを立ち上げ、新しい写真美術館の展開をアピールした。



左) 写真美術館ホームページより「みっちゃんのブログ」

右) 恵比寿映像祭ホームページ <http://www.yebizo.com>

3 プレスリリース作成・発送およびプレス取材対応

リリース数は各回約670件（前年比約1.5%増）。また、電話・FAX・メールでの記事掲載対応の他、取材依頼、撮影・収録・オンエアーの立ち会いなどをおこなった。

4 チラシ・ポスターの配架

マスコミ、美術館、写真、教育関係など各所にチラシ・ポスター等の掲出物を送付。展覧会毎にターゲットを絞った配布先を増やし、配架を強化した（各回約300件、前年比20%増）。

5 懸垂幕、壁面スペースへの掲出

JR恵比寿駅側の懸垂幕、壁面スペースへの掲出や、恵比寿ガーデンタワー側の巨大写真掲出および縦位置壁面スペース（3枚）の利用で、写真美術館の活動やイメージを発信した。

6 広告スペースへの掲出

(1) 交通広告

年間を通じて首都圏JR・地下鉄の窓上広告、JR恵比寿駅東口改札内柱広告、恵比寿スカイウォーク入口電飾広告を行った。恵比寿映像祭では、東京メトロでの大型出稿も行った。



「恵比寿映像祭」東京メトロ表参道駅掲出例（掲載期間：2/16-2/22）

(2) 新聞広告

展覧会やイベントを広く告知するために、新聞広告を掲載した。出稿は下記の通り。

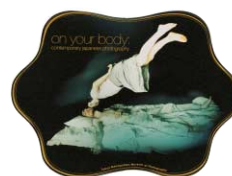
- (ア)「ヴィジョンズ オブ アメリカ 第1部」
朝日新聞平成20年7月2日（水）東京本社版夕刊（約210万部）
社会面2段モノクロ
- (イ)「今森光彦写真展 昆虫 4億年の旅」
朝日新聞平成20年7月4日（金）東京本社版夕刊（約210万部）
一面突きだし広告
- (ウ)「液晶絵画 STILL/MOTION」
朝日新聞平成20年9月17日（水）東京本社版夕刊（約210万部）
夕刊アート欄下 半5段モノクロ
- (エ)「ヴィジョンズ オブ アメリカ 第2部」
朝日新聞平成20年8月27日（水）東京本社版夕刊（約210万部）
社会面2段モノクロ
- (オ)「ヴィジョンズ オブ アメリカ 第3部」
朝日新聞平成20年10月22日（水）東京本社版夕刊（約210万部）
社会面2段モノクロ
- (カ)「お正月開館告知」
朝日新聞平成20年12月24日（水）東京本社版夕刊（約210万部）
夕刊アート欄下 全5段モノクロ
- (キ)「夜明けまえ 日本写真開拓史II. 中部・近畿・中国地方編」
東京新聞平成21年3月7日（土）朝刊32面
全5段カラー
- (ク)「夜明けまえ 日本写真開拓史II. 中部・近畿・中国地方編」
朝日新聞平成21年3月18日（水）東京本社版夕刊（約210万部）
夕刊アート欄下 半5段モノクロ



新聞広告「お正月開館告知」

(3) アドカード（ポストカード型広告）

- (ア)「森山大道 レトロスペクティブ1965-2005/II ハワイ」アドカード
平成20年4月24日（木）～20,000枚
- (イ)「日本の新進作家展vol.7 オン・ユア・ボディ」アドカード
平成20年10月9日（木）～40,000枚



「森山大道」「オン・ユア・ボディ」アドカード

7 記者懇談会の実施

(1) 記者懇談会①「平成19年度活動報告」

恒例となった春の記者懇談会
平成20年5月28日（水）17:00～18:00 4階会議室
<主なプログラム>
平成19年度事業実績報告
平成20年度企画 注目のラインナップ
その他

(2) 記者懇談会②「恵比寿映像祭の開催と20年度新収蔵作品の特別実見」

恵比寿映像祭の内容紹介と平成20年度新収蔵作品の実見。カフェでは館長と記者がなごやかに懇談した
平成21年1月16日（金）16:00～17:30
<主なプログラム>
【第1部】1階ホール
平成19年度事業外部評価の報告について
平成20年度および平成21年度企画の紹介
恵比寿映像祭プレゼンテーション
平成20年度新規収蔵作品の紹介

【第2部】1階創作室

平成20年度新規収蔵作品の実見
懇談(1階 カフェ「サンプル・クレール」)

8 プレス向けギャラリーツアーの実施

主要収蔵展および自主企画展について、特別鑑賞会と同日に、
プレス向けギャラリーツアーを開催。学芸員と作家自身による
展覧会説明を積極的に行った

実施回数：13回



「森山大道」



「ヴィジョンズ オブ アメリカ 第2部」



「やなぎみわ」

9 年始特別開館

平成21年の正月特別開館では、1月2日は入場無料、3日・4日は割引料金を設定した。期間中(1月2日～4日)は、特別フロアレクチャーや雅楽コンサート、プレゼントや限定メニューなどを用意し、来館者が一日をとおして美術館で楽しく過ごせるように工夫した。



お正月開館告知(JR恵比寿駅)



お正月開館風景(雅楽コンサート)



お正月開館風景(柴田敏雄展特別フロアレクチャー)

10 他施設との連携

(1) 福原館長×緒方貞子(独立行政法人 国際協力機構 理事長)対談企画

取材：平成21年2月25日(水) JICA本部(東京都渋谷区)

掲載日：東京新聞 平成21年3月1日(日)



東京新聞掲載紙

(2) 恵比寿映像祭×恵比寿ガーデンプレイス タイアップキャンペーン

実施期間：平成21年2月20日(金)～3月1日(日)

実施店舗数：21店舗



恵比寿ガーデンプレイス内キャンペーン風景

我が国最初の写真の保存・修復に関する当研究室では、写真保存用包材、修復用材料などの写真適正試験をはじめ、各種写真の保存条件、展示照明条件などの最適化研究を行っている。また、画像劣化原因の排除、劣化画像の復元処理などを含めた保存科学全般にわたる調査研究を進めている。

1 今年度の研究内容

千葉大学、日本大学、便利堂（協力）の共同実験として、コロナタイプ印刷の耐光性および長期保存性、すなわち、光によって色褪せる「明退色」と、保存温度に依存する「暗退色」について検証した。

コロナタイプ印刷は、製版、印刷の過程に熟練と手間を必要とするが、連続階調であること、特殊なインキによる強い耐久性をもつこと、また、多色刷へと広がったことで、微妙な色彩変化や筆力の忠実な表現を必要とする、文化財の再現に利用されてきた。

最近では、インクジェットプリントの画像保存性が向上したことや、大判プリントが可能なことから、文化財複製に積極的に使われ始めている。これには屏風や襷絵などの文化財をデータとして記録するという側面も持つ。

コロナタイプ印刷とインクジェットプリントを単純に同じ土俵上で比較することは、材料の安定性や用途、実年数での保存性の蓄積を勘案すると困難であるが、保存情報の1つとなれば有益と考えている。

この実験結果については、2009年度日本写真学会年次大会にて報告予定である。

2 教育・普及活動

平成19年度に引き続き、一般の方々に美術館の施設・舞台裏を紹介する写真美術館ガイドツアーが開催された。当研究室内では、古典写真のサンプルを見せながら技法の解説および写真の保存方法、研究内容について概説した。

館内のみならず、外部からの写真保存に関する問い合わせに応じることも、当研究室の重要な業務となっている。問い合わせ内容および件数を図1に示す。乾板あるいはプリントが接着している場合の対処方法や化学修復の可能性など写真の保護処理や修復に関する内容の他、フィルムの保存やクリーニング方法についての問い合わせが寄せられた。これらは、写真が二次資料的扱いから見直されていることを示し、それと共に写真を収蔵している美術館や文書館などが、写真・フィルム・ガラス乾板の保存や保存環境の整備に着手し始め、数々の問題に直面しつつあると考えられる。

今年度は10ヶ月に渡るインターン生1名を受け入れ、実験補助、作品の保護処理や収蔵作品のデータシート作成を通して、写真技法や材料に応じた適切な保存方法を指導した。

さらに、博物館学実習、保存担当芸員研修、文化財防虫防菌処理実務講習会、日本写真学会等でのセミナーや日本写真学会誌への執筆を通じて、写真保存の普及・教育活動もおこなっている。

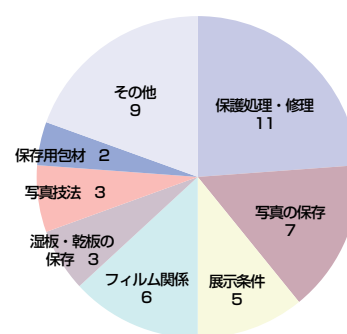


図1. 問い合わせ内容および件数

3 収蔵作品の保存環境整備

過年度における当研究室の実験の結果、従来の輸入保存箱に使用されている糊や、透かし模様がある弱アルカリ性の間紙は、写真画像に及ぼす悪影響の可能性を示唆した。

その結果を踏まえ、平成15年度より行ってきたJISK7617（写真包材の写真画像への影響度試験方法）に合格した国産保存箱への交換は、写真作品、映像作品においてほぼ終了した。

購入・寄贈・寄託によって毎年収蔵庫へ新規作品が入庫する。新規収蔵作品の適切な収蔵処理、保存箱の作製は随時行っている。また、収蔵作品の保護処理、修復は継続している。平成20年度は額装ダゲレオタイプ1点のガラスの交換と周囲のシーリング処理をした。

また、収蔵庫・作業室・展示室の環境維持のため、29カ所に簡易計測紙を吊り下げ、毎月1回空気質のモニタリングを実施している。これは、コンクリートから放出するアルカリガス、あるいは木材等からの酸性ガスによる空気汚染をpH値で検討するためである。これによって、画像劣化原因になる有害ガスを放出する物質（塗料、糊、ダンボール等）の有無を確認する事が出来る。また、ケミカルフィルタ（酸性・アルカリ・有機酸除去）効果の持続を知る手立てにもなっている。

さらに有機酸とアンモニアのみに反応する、簡易計測紙より正確なパッシブインジケータ®を使用し、空気環境の雰囲気測定して、各展示室および収蔵庫のケミカルフィルタの構成を適正にした。

また、光による画像劣化を助長せず、館内展示や貸出の日数、あるいは展示照度の管理をするために、写真技法ごとの最大年間

累積照度を設定し、遵守している。

今年度は次の額装ダゲレオタイプの保護処理をした。すでに過年度に額の修理は終了していたが、オリジナルの酸性紙マットの処理（再使用または複製）に試行錯誤があり、作品全体としては今年度の完成に至った。

・ 題不詳 (資料番号20002953)

ダゲレオタイプは、ガラス、金武裝飾のある紙、茶色い厚紙に貼られた紙のオーバーマット、厚紙に挟まれ、額装されていた。ダゲレオタイプ本体のコンディションは、楕円形マットに沿った変色以外の問題は認められなかった。

ダゲレオタイプの保護ガラスとして使用されているソーダガラス内側に曇った汚れが認められたため、ガラスの交換を行った。オーバーマットの破れの補修、補彩した後、ダゲレオタイプ本体とオーバーマットの寸法を合わせるため、落とし込みマットを作製して、そこにダゲレオタイプを収めた。フレームの周辺テープの貼り直しをおこなった。

ダゲレオタイプが収められた落とし込みマットの厚みと、オリジナルの額の縁の高さを合わせるために、ドロ足を取り付けた。そして、裏板固定用トンボを取り付け、ポリカーボネート板を入れ、しっかりと作品を固定した。

●20002953 (ダゲレオタイプ)



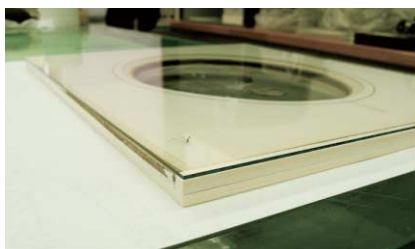
修理前 オーバーマット裏面



ダゲレオ刻印 (右下)



額 オリジナルに追加



修理中 落とし込みマット断面



修復後 裏面



修復後

図書室

写真・映像に関する専門図書室として、国内外で出版された写真集を中心に、評論、写真史・映像史、技法書、一般美術書、展覧会カタログ、専門雑誌、美術館ニュース、パンフレットなどの収集、整理、保存を行い、一般に公開している。なお、写真美術館の展覧会準備としての調査・研究に必要な資料・情報の提供も行っている。

1 所蔵資料数

図書（冊数）

	購入	寄贈	合計
和書	7,722	13,954	21,676
洋書	8,066	2,811	10,877
合計	15,788	16,765	32,553

逐次刊行物（タイトル数：逐次刊行物はタイトル数でカウント）

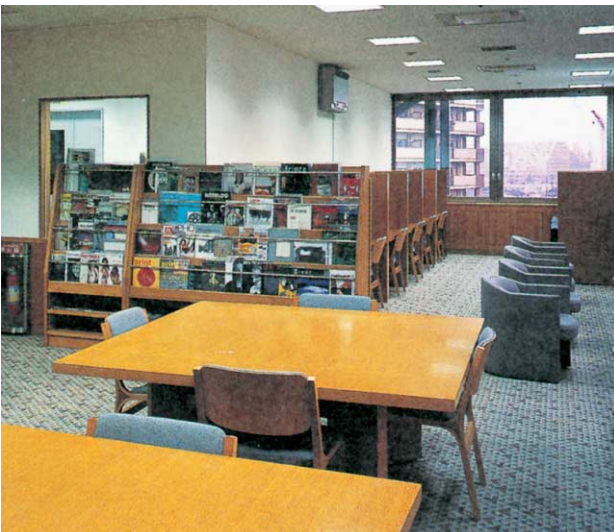
和雑誌	848
洋雑誌	313

2 図書資料の整理

(1) 平成20年度登録冊数

	購入	寄贈	合計
和書	266	1,146	1,412
洋書	101	53	154
合計	367	1,199	1,566

平成20年度逐次刊行物の新着・バックナンバーの登録冊数は2,703冊である。



図書室内風景

(2) 特別整理

平成21年2月17日(火)～19日(木)、3月3日(火)～6日(金)の7日間に蔵書点検を行った。対象は図書のみ、約32,400冊である。

(3) 図書資料保存対策

破損等のある図書資料の製本・修復（外部委託）をすることによりその保全を図った（465冊）。また、中性紙箱・保存用封筒等を活用し保存に努めた。

3 システムのリプレイス

システムのリース期間が終了することを機に、従来は美術館の収蔵作品と図書室の資料を一元管理するシステムであったが、業務プロセスの見直しを行い、図書室は、国立情報学研究所(NII)のオンライン目録システム(NACSIS-CAT)に対応した図書館用システムを導入した。平成19年度に移行作業を行い、平成20年度4月より新システムが本稼働している。新システムの導入後は、インターネット公開用の蔵書検索システムとの間で、調整作業を行った。



新システムの導入

4 サービス業務

(1) 閲覧サービス

図書室は一般公開しているが、館外貸出は行っていない。資料は、閲覧室に設置したコンピューター2台で検索できるようになっている。インターネット上で蔵書検索（図書のみ）ができ、美術図書館横断検索ALC(Art Libraries' Consortium)へも参加している。さらに、平成20年4月からは、新システムの導入に伴い、国立情報学研究所(NII)の総合目録データベースNACSIS-CATにも書誌所在情報の提供を開始した。平成19年10月より火・水曜日のみ受付時間帯を10:00～17:30とし、利用者サービスの向上に努めた。また、「新着図

書コーナー]、「展覧会関連図書コーナー」を設け継続的に展示を行っている。また、展覧会関連図書リストを作成し、会場で配布している。展覧会ごとの展示冊数は下記のとおりである。

単位(冊)

展覧会名	図書
森山大道展	12
ヴィジョンズ オブ アメリカ 第1部「星条旗」	15
今森光彦写真展 昆虫4億年の旅	15
ヴィジョンズ オブ アメリカ 第2部「わが祖国」	16
日本の新進作家展 vol.7 オン・ユア・ボディ	7
ヴィジョンズ オブ アメリカ 第3部「アメリカン・メガミックス」	19
ランドスケープ 柴田敏雄展	8
甦る中山岩太 モダニズムの光と影	16
やなぎみわ マイ・グランドマザーズ	20
夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史Ⅱ	20

(2) レファレンスサービス

写真、映像に関する図書資料についての質問および所蔵状況についての問い合わせに応じている。来室者からの問い合わせの他、電話、文書での問い合わせにも応じている。これらの質問についての回答のうち、今後のサービスに役立つものは、記録票を作成し、ファイルして活用している。

(3) 複写サービス

当室所蔵の資料について著作権の範囲内で複写サービスを行っている(モノクロのみ)。

5 平成20年度 利用統計

月	開室日数	入室者数	出納冊数	レファレンス件数	コピー枚数	Web版OPAC訪問数
4月	26	3,018	1,299	309	1,318	3,890
5月	27	2,969	1,787	332	1,152	4,312
6月	25	2,611	1,742	221	1,326	4,373
7月	28	2,648	1,684	211	1,453	4,677
8月	27	2,756	2,007	235	744	4,089
9月	25	2,488	1,300	248	1,086	3,555
10月	27	2,664	1,554	303	1,223	3,023
11月	26	2,536	1,273	278	924	2,637
12月	24	2,290	1,278	220	1,068	2,464
1月	23	2,341	1,342	234	994	2,751
2月	22	2,349	1,647	241	1,514	3,091
3月	22	2,407	1,791	242	1,678	2,938
合計	302	31,077	18,704	3,074	14,480	41,800
一日平均	—	103	62	10	48	—

● その他

(1) 展覧会への貸出は7件101冊であった。

- (2) 図書室への見学は36件、取材は4件あった。
- (3) 博物館学実習の一環として実習生12名を受け入れた。
- (4) 図書室利用者サービスに関するアンケート実施。
- (5) 『展覧会カタログ総覧』(日外アソシエーツ2009年1月発行)の作成に協力し、当館所蔵の展覧会のカタログのデータの提供を行った。
- (6) ALC参加館でカタログ交換を実施した。
当室より253冊を寄贈し、他の参加館より55冊の寄贈を受けた。



図書室展覧会関連図書コーナー

実験劇場

当館の新しいあり方を工夫するとともに館の活性化を図るための試みとして、平成12年度から将来を担う有望な若手新進監督の映画作品や良質な作品等写真美術館にふさわしい映画を、1階ホールで上映している。近年は、写真美術館の特色を示すため、「アート&ヒューマン」をテーマに作品を選定することに重点を置いている。

宣伝、告知に関しては、配給会社のネットワークにより、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、駅広告など幅広く告知するとともに、ターゲット層をねらったチラシ配布などで宣伝を行っている。

アニー・リーボヴィッツ レンズの向こうの人生

上映期間：平成20年3月15日（土）～4月4日（金）
4日間（平成20年4月1日からの上映日数）

制作年：2007年・製作国：アメリカ
監督・脚本・制作：バーバラ・リーボヴィッツ
配給：株式会社ギャガ・コミュニケーションズ

世界中のセレブリティたちが心を許し、「特別的存在」と口を揃える写真家アニー・リーボヴィッツ。本作では、アニーの半生が、セレブリティのインタビューや撮影現場の様子、本人の語りとともに綴られている。常に剥き出しの魂でぶつかってゆき、時に傷つきながらも前に進むアニーの生き様は、観る人すべてに勇気と生きる力を与えてくれる。



バレエ・リュス 踊る喜び、生きる喜び

上映期間：平成20年4月5日（土）～5月9日（金） 30日間
制作年：2005年・製作国：アメリカ
製作・監督・編集・脚本：ダニエル・ゲラー、デイナ・ゴールド
ドフィン
配給：株式会社ファントム・フィルム

伝説のバレエ団「バレエ・リュス」の半世紀以上にわたる<旅>を描いた感動のドキュメンタリー。バレエという一瞬の芸術に生きたその人生が、私たちへ、そして永遠に伝えられる。



ファヴェーラの丘

上映期間：平成20年4月5日（土）～5月9日（金） 30日間
制作年：2005年・製作国：アメリカ
プロデューサー・監督：ジェフ・ジンバリスト& マット・モチャリー
配給：ナウオンメディア株式会社

麻薬ギャング、腐敗した軍警察に支配されたリオデジャネイロのスラム街は“ファヴェーラ”と呼ばれる。本作は、数あるファヴェーラの中でも最も危険な地区として知られるヴィガリオ・ジェラウを舞台に、絶望的で息詰まるような日常から、希望ある未来を子供達に示そうと立ち上がった男を追ったドキュメンタリーである。

* トライベッカ映画祭 最優秀新人ドキュメンタリー監督

* 国際ドキュメンタリー協会 フィルム・オブ・ジ・イヤ



チベットの女

上映期間：平成20年5月10日(土)～6月13日(金) 28日間
制作年：2000年・ 製作国：中国
監督・脚本：シエ・フェイ
配給：ビタース・エンド

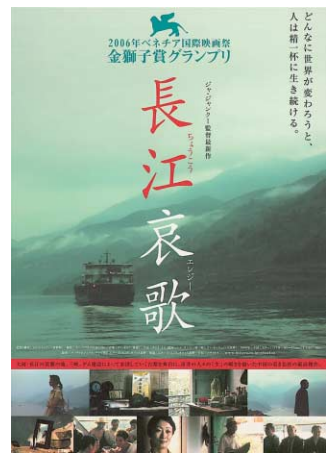
恋歌に綴られる、農奴の娘イシの50年にわたる愛の物語。
初恋、寵愛、掠奪愛という3つの愛に葛藤し、心に深い思いを抱きながら人生の最後を迎えようとするイシ。夫ギャツォの死の床で、止めどなく流す涙は、共に喜びや悲しみを乗り越え、育んできた愛こそが永遠であることを意味している。イシがたどる愛に、誰もが自らの愛を顧み、涙する。



長江哀歌

上映期間：平成20年5月31日(土)～6月13日(金) 12日間
制作年：2006年・ 製作国：中国
監督：ジャ・ジャンクー
配給：ビタース・エンド、オフィス北野

2千年の歴史を持ちながら、ダム建設によって、伝統や文化、記憶や時間も水没していく運命にある長江、山峡のほとりの古都を舞台に綴られる2人の男女の物語。
*2006年ベネチア国際映画祭金獅子賞グランプリ作品
*2007年度キネマ旬報ベスト・テン外国映画部門第1位



CONTROL

上映期間：平成20年5月10日(土)～5月30日(金) 17日間
制作年：2006年・ 製作国：イギリス=日本
監督：アントン・コービン
配給：株式会社スタイルジャム

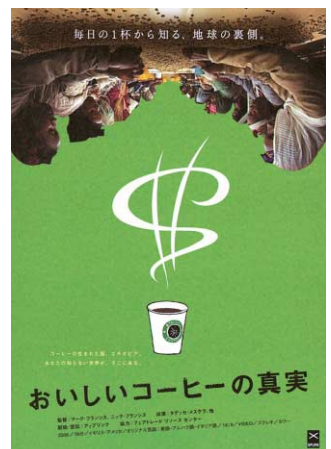
イギリスで誕生した伝説のバンド、ジョイ・ディヴィジョン。バンドのカリスマヴォーカルであるイアン・カーティスの、ロックに憧れた少年期から、プロになり23歳の若さで自らの命を絶つまでの、短くも波乱の生涯を描いた衝撃の話題作。
*2007年カンヌ国際映画祭 カメラドール/スペイン・メンション賞
*2007年英国インディペンデント映画賞 作品賞/監督賞/新人監督賞/新人俳優賞：サム・ライリー / 助演俳優賞：トビー・ケベル
*2007年エジンバラ国際映画祭 最優秀英国映画賞/最優秀演技賞：サム・ライリー



おいしいコーヒーの真実

上映期間：平成20年6月14日(土)～7月11日(金) 24日間
制作年：2006年・ 製作国：イギリス、アメリカ
監督・プロデューサー：マーク・フランシス、ニック・フランシス
配給：有限会社アップリンク

コーヒーは世界で最も日常的な飲物。全世界での1日あたりの消費量は約20億杯にもなる。大手企業がコーヒー市場を支配し、石油に次ぐ取引規模を誇る国際商品にしている。私たちは「おいしいコーヒー」にお金を払い続けている。しかし、コーヒー農家に支払われる代価は低く、多くの農家が困窮し、農園を手放さなくてはならないという現実。一体なぜ？
1杯のコーヒーを通して、地球の裏側の人々の生活と世界の現実を知る。

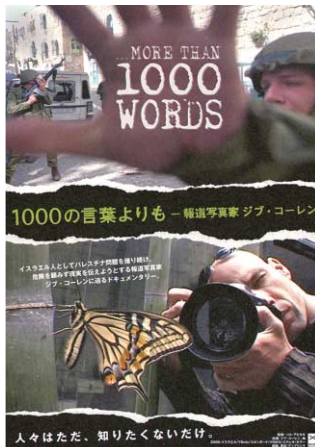


1000の言葉よりも 報道写真家ジブ・コーレン

上映期間：平成20年6月14日(土)～7月11日(金) 24日間
平成20年7月18日(金)～8月10日(日) 21日間

制作年：2006年・ 製作国：イスラエル
監督：ソロ・アビタル
配給：有限会社アップリンク

イスラエル人としてパレスチナ問題を撮り続け、危険を顧みず現実を伝えようとする報道写真家ジブ・コーレンに迫るドキュメンタリー。惨劇を目の前にしてシャッターを切ること、そのトラウマ。幸せな家庭を持ちながらも戦場へと向かうコーレンは、ねじれた現実を鮮明に写し出す。



いま ここにある風景

上映期間：平成20年7月12日(土)～9月5日(金) 48日間
制作年：2006年・ 製作国：カナダ
監督：ジェニファー・バイチウォル
配給：カフェグルーヴ、ムヴィオラ

国際的な写真家パーティンスキーが中国を訪れ、産業発展がこの国に与えた巨大な影響を写真におさめる姿を記録したドキュメンタリー。

- * 2006トロント国際映画祭 最優秀カナダ映画賞
- * 2006トロント映画批評家協会 最優秀カナダ映画賞/最優秀ドキュメンタリー賞
- * 2007カナダ・アカデミー賞 (ジェニー賞) 最優秀ドキュメンタリー賞
- * 2007ナッシュビル映画祭 アル・ゴア「現代の映画」賞
- * 2007サンダンス映画祭公式出品 審査員賞ノミネート



世界報道映画特集

ジャーナリストたちが記録した、その瞬間ーパレスチナ、イスラエル、イラク、チベット、ビルマ、そしてー

上映期間：平成20年6月14日(土)～7月11日(金) 24日間

「1000の言葉よりも 報道写真家ジブ・コーレン」公開を記念して、世界の紛争地帯の現状を伝えようとする作品を一挙特集上映。

- ・「パレスチナ1948 NAKBA」(2008/日本/監督：広河隆一)
- ・「マグナム・フォト 世界を変える写真家たち」(1999/ドイツ/監督：ライナー・ホルツマー)
- ・「レインボー」(2004/パレスチナ/監督：アブドゥッサラーム・シャハータ)
- ・「ガーダーパレスチナの詩」(2005/日本/監督・撮影：古居みずえ)
- ・「シャティーラキャンプの子どもたち」(1998/パレスチナ・レバノン/監督：メイ・マスリ)
- ・「夢と恐怖のはざままで」(2001/パレスチナ・アメリカ/監督：メイ・マスリ)
- ・「プロミス」(2001/アメリカ/監督・プロデューサー：ジャスティーン・シャピロ、B・Z・ゴールドバーグ/共同監督・編集：カルロス・ボラド)
- ・「チベット難民」(2000/日本/監督：田中邦彦)
- ・「ファイナルソリューション」(2004/インド/監督・脚本・編集・録音・製作：ラケッシュ・シャルマ)
- ・「S21クメールルージュの虐殺者たち」(2002/フランス/監督：リディー・パニコ)
- ・「余震一村は何処へ行くのか」(2002/インド/監督：ラケッシュ・シャルマ)
- ・「アフガン零年」(2003/アフガニスタン=日本=アイルランド/監督・脚本・編集：セディク・バルマク)
- ・「パラダイス・ナウ」(2005/フランス・ドイツ・オランダ・パレスチナ/監督・脚本：ハニ・アブ・アサド)
- ・「ビルマバゴダの影で」(2004/スイス/監督：アイリヌ・マーティン)
- ・「イラクケーヤシの影で」(2005/オーストラリア/監督・撮影・編集・製作：ウェイン・コールズ=ジャネス)

世界報道映画特集
ジャーナリストたちが記録した、その瞬間ーパレスチナ、イスラエル、イラク、チベット、ビルマ、そしてー

6/14(土) 世界報道映画特集 第一回上映

上映料：一般 ¥1300 学生・シニア ¥1000
1000の言葉よりも 報道写真家ジブ・コーレン

6/15(日) 世界報道映画特集 第二回上映
6/16(月) 世界報道映画特集 第三回上映
6/17(火) 世界報道映画特集 第四回上映
6/18(水) 世界報道映画特集 第五回上映
6/19(木) 世界報道映画特集 第六回上映
6/20(金) 世界報道映画特集 第七回上映
6/21(土) 世界報道映画特集 第八回上映
6/22(日) 世界報道映画特集 第九回上映
6/23(月) 世界報道映画特集 第十回上映
6/24(火) 世界報道映画特集 第十一回上映
6/25(水) 世界報道映画特集 第十二回上映
6/26(木) 世界報道映画特集 第十三回上映
6/27(金) 世界報道映画特集 第十四回上映
6/28(土) 世界報道映画特集 第十五回上映
6/29(日) 世界報道映画特集 第十六回上映
6/30(月) 世界報道映画特集 第十七回上映
7/1(火) 世界報道映画特集 第十八回上映
7/2(水) 世界報道映画特集 第十九回上映
7/3(木) 世界報道映画特集 第二十回上映
7/4(金) 世界報道映画特集 第二十一回上映
7/5(土) 世界報道映画特集 第二十二回上映
7/6(日) 世界報道映画特集 第二十三回上映
7/7(月) 世界報道映画特集 第二十四回上映
7/8(火) 世界報道映画特集 第二十五回上映
7/9(水) 世界報道映画特集 第二十六回上映
7/10(木) 世界報道映画特集 第二十七回上映
7/11(金) 世界報道映画特集 第二十八回上映

写真展
1000の言葉よりも
ジブ・コーレン 報道写真展

6/14(土)～6/19(木) 12:00～18:00
6/20(金)～6/25(木) 12:00～18:00
6/26(金)～6/30(火) 12:00～18:00
7/1(水)～7/6(金) 12:00～18:00
7/7(土)～7/11(日) 12:00～18:00

会場：アビタル・シアター
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL: 03-5561-1111

男たちの詩

上映期間：平成20年9月6日(土)～10月3日(金) 24日間
 平成21年1月17日(土)～2月6日(金) 18日間
 制作年：2008年 製作国：日本
 プロデュース：中野裕之
 企画・製作・原作：東本三郎
 配給：株式会社 アドビジョン

第59回カンヌ国際映画祭国際批評家週間・ヤング批評家賞受賞作品「アイロン」に続き、中野裕之監督と東本三郎・原作のコンビで新たに4本の短編映画を企画・製作。日本映画では初めての試みで全てをつないだ約90分の劇場用映画。



那須少年記

上映期間：平成20年10月4日(土)～10月17日(金) 12日間
 製作国：日本
 監督：初山恭洋
 配給：シネマとうほく、ティアンドケイテレフィルム

舞台は、昭和29年の栃木県、那須。雄大な自然の中、成長していく少年たちの姿を通して、友情、淡い初恋、そして心の絆を描く。誰もが一度は経験したことのある普遍的な感情がテーマである。



東京・中国映画週間

上映期間：平成20年10月18日(土)～10月22日(水) 4日間

- ・「愚公移山」(2008年/監督：霍建起)
- ・「サーウェ村のオリンピック～買買提的2008」(2008年/監督：西爾扎提・亜合甫)
- ・「胡同日和～胡同裏的陽光」(2007年/監督：安戰軍)
- ・「五発の銃弾～5顆子弾」(2005年/監督：蕭鋒)
- ・「ニーマ家の女たち～尼瑪家的女人們」(2008年/監督：卓格赫)
- ・「ザ・スノーストーム～風雪狼道」(2007年/監督：高峰)
- ・「ワンダー・ウーマン～女人本色」(2007年/監督：黃真真)
- ・「カンフーダンク～大灌籃」(2008年/監督：朱延平)



ショートショートフィルムフェスティバル&アジア

上映期間：平成20年10月23日（木）～10月26日（日） 4日間

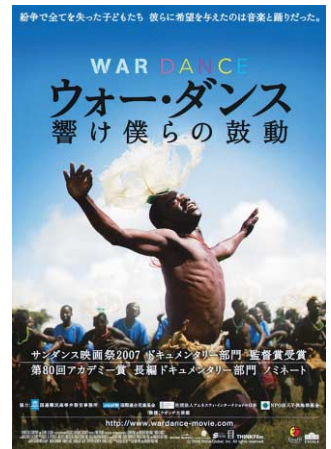
- ・「LINE」（監督：中尾浩之／Drama-Comedy／Japan/2007）
2007年度文化庁・VIPO（映像産業振興機構）・SSFF&ASIA支援作品
- ・「The Life」（監督：Kim-Jun-ki/Animation/Korea/2003）
SSFF ASIA2004アジア・プログラムアワード・グランプリ
- ・「AMAL アマル」（監督：Richie Mehta/Drama/India/2004）
SSFF & A S I A 2005優秀賞・アジアインターナショナル部門
- ・「D. I. Y」（監督：Royston Tan/Musical/Singapore/2005）
SSFF&ASIA2007アジアインターナショナル部門ノミネート
- ・「Pipio」（監督：Kang-Man-Jin/Horror/Korea/2002）
SSFF&ASIA2004企画部門（幽霊）アワード・グランプリ／東京都知事賞
- ・「SAUNA」（監督：西岡純也/Animation/Japan/2007）
SSFF&ASIA2008オーディエンスアワード／J-WAVEアワード・ストップ！温暖化部門
- ・「Printed Rainbow 虹絵」（監督：Gitanjali Rao/Animation/India/2006）
SSFF&ASIA2007グランプリ優秀賞／東京都知事賞・アジアインターナショナル部門
- ・「Bunny&Clydo パニー&クラウド」（監督：Rocky Jo/Action/USA-Japan-Korea-Taiwan/2007）
SSFF&ASIA2006オーディエンスアワード・アジアインターナショナル部門
- ・「扇風機の気持ち」（監督：山口智/Drama/Japan/2006）
SSFF&ASIA2007優秀賞／東京都知事賞・ジャパン部門
- ・「Village Football 村のサッカー」（監督：Sainath Choudhury/Drama/India/2004）
SSFF&ASIA2006審査員特別賞・アジアインターナショナル部門
- ・「胡同の一日」（監督：鈴木勉/Drama/Japan/2007）
SSFF&ASIA2008グランプリ／優秀賞／東京都知事賞・ジャパン部門
- ・「Color of Paradise」（監督：Zhu Jie /Animation/China/2007）
SSFF&ASIA2008優秀賞／東京都知事賞・アジアインターナショナル部門
- ・「Blood and Incense 血と香」（監督：Carl Valiquet/Documentary/Indonesia/2007）
SSFF&ASIA2008アジアインターナショナル部門ノミネート
- ・「A Fish with a Smile 幸せな魚」（監督：C.Jay Shih/Animation/Taiwan/2005）
SSFF&ASIA2005アジアインターナショナル部門ノミネート



ウォー・ダンス 響け僕らの鼓動

上映期間：平成20年11月1日（土）～12月12日（金） 35日間
制作年：2007年・製作国：アメリカ
監督：ショーン・ファイン&アンドレア・ニックス・ファイン
配給：株式会社IMAGICA TV

ウガンダ北部で最も危険地帯とされるパドongo避難民キャンプ。子どもたちは、反政府武装組織の脅威にさらされ、家も家族も、一切の安全も安心も奪われた。子どもたちが音楽を通して、新たな希望を見出していく。
* 2007年サンダンス映画祭 ドキュメンタリー部門 監督賞受賞
* 2007年第80回アカデミー賞 長編ドキュメンタリー部門ノミネート
* 2007年第20回東京国際映画祭ワールドシネマ部門 上映作品
* 2008年第3回難民映画祭オープニング作品
* 青少年映画審議会推薦
* 東京都優良映画
* 文部科学省特別選定映画
* 文部科学省選定 少年向き
* 文部科学省特別選定 青年向き、成人向き、家庭向き



オペラ映画フェスティバル

上映期間：平成20年12月13日（土）～12月28日（日） 14日間
配給：ティアンドケイテレフィルム

- 生誕150年を迎えたプッチーニと、オペラ王ヴェルディというイタリアオペラを代表する二人の作曲家の5作品を上映。
- ・「ラ・ボエーム」（1965/ドイツ/演出：フランコ・ゼッフィレリ/指揮：芸術監督：ヘルベルト・フォン・カラヤン）
 - ・「トスカ」（1976/ドイツ/演出：ジャンフランコ・デ・ボシオ/指揮：ブルーノ・バルトレッティ）
 - ・「リゴレット」（1982/ドイツ/演出：ジャン＝ピエール・ポネル/指揮：リッカルド・シャイアー）
 - ・「椿姫」（1982/ドイツ/監督・脚本・美術：フランコ・ゼッフィレリ）
 - ・「オテロ」（1973/ドイツ/監督：指揮：ヘルベルト・フォン・カラヤン）



ニューイヤー！ オペレッタ シネマ・フェスティバル

上映期間：平成21年1月2日(金)～1月12日(月・祝) 10日間
配給：ティアンドケイテレフィルム

有名なオペレッタを、本場ヨーロッパの一流の指揮者・歌手で映画化した、70年代の3作品を上映。

- ・「ウィーン気質 (かたぎ)」
(1971/ドイツ/監督：ヘルマン・ランスケ)
- ・「こうもり」(1972/ドイツ/監督：オットー・シェンク)
- ・「チャールダーシュの女王」
(1971/ドイツ/監督：ミクロス・シネター)



色彩の記憶

上映期間：平成21年2月7日(土)～2月15日(日) 8日間
制作年：2009年・製作国：日本
監督：御法川修
配給・宣伝：デザインプール+ RCS

上質を追い求める表現者たちの横顔に迫る珠玉のアート・ドキュメンタリー
美容界をリードするカラースペシャリスト、京都西陣織の匠、有田窯の陶工。豊かな感受性で独自の色彩を創造する表現者たちの技と心に迫る。

*ゆびいん文化・記録映画祭「第1回松川賞」受賞作品



世界はときどき美しい

上映期間：平成21年2月7日(土)～2月15日(日) 8日間
制作年：2006年・製作国：日本
監督・脚本：御法川修
配給・宣伝：ユナイテッドエンタテインメント

ありふれた日常の中で、人が生きることを支える大切な「何か」を考察する試み。5つの短篇からなるアンソロジー。

- *第19回東京国際映画祭「日本映画・ある視点」公式出品
- *マイアミ国際映画祭 コンペティション部門
- *第16回フィラデルフィア映画祭 World Focus部門
- *第9回バルセロナ・アジア映画祭 コンペティション部門



ゼラチンシルバーLOVE

上映期間：平成21年3月7日(土)～4月10日(金) 21日間
(平成21年3月31日までの上映日数)
制作年：2008年・製作国：日本
原案・撮影監督・監督：繰上和美
配給：株式会社ファントム・フィルム

愛は撮るほどに奪われる。
無機質な部屋から向かいの女をビデオカメラで監視するカメラマンの男。男の部屋と運河を隔てた無機質な部屋で24時間監視され、ビデオで撮られる美しい女。見つめることしか許されない男は、触れてはいけない女に惹かれていく。90分のフィルムにやきつけられたのは、本能と性に翻弄される男と女の姿—

